

南阿蘇村議会だより

すいげん

みなみあその今と未来を発信

令和4年
11月1日発行

Vol.59

9月定例会

- ② 「農業経営の安定化へ」 第3回定例会
- ④ 事業進捗状況に質疑集中 合同常任委員会
- ⑥ 令和3年度 決算報告
- ⑦ 「ずばり村政を問う」 一般質問
- ⑩ 議会活動
- ⑪ 議会紀行
- ⑫ 「あなたのSDGsは？」

平和を願う祈りが
実り多きものになりますように

人権啓発標語：あなたの^{ことば}言葉で ^{なんにん}何人の^{いのち}命が^{すく}救える

南阿蘇中学校3年 ^{ふじおか}藤岡 ^{けいし}敬土さん

農業経営の安定化へ

■令和4年度一般会計当初予算 3億9081万円を追加

【令和4年度第3回定例会】

9月定例会は、9月9日から9月16日まで8日間の日程で開催された。令和4年度一般会計当初予算など26議案（予算7、条例4、決算9、人事1、その他5）を上程。人事案件で教育委員会委員の任命で増田ゆかり氏など計26議案すべて原案通り可決した。

常任委員会では、付託された決算認定や各議案について審議し、最終日に各委員長より報告があった。一般質問は、3名の議員が登壇（P7～P9）した。

【令和4年9月一般会計補正予算】

主な事業

行政手続きオンライン化事業	1350万円
マイナンバーカード普及促進事業	3116万円
介護基盤緊急整備特別対策事業	1517万円
施設開所準備経費助成特別対策事業	2100万円
地域公民館再建支援事業	3075万円
経営開始資金（新規就農者育成総合支援事業）	300万円
白水小学校排水路改修事業	2700万円

南阿蘇村そば価格補填事業の見直しに関する請願について (請願第1号)

反対討論 坂田議員

そば価格補填1500円は、3月の議会で決定。

議員として3000円の見直しは、納得できない。今回のそば価格補填事業の見直しには、反対。

【第3回議会臨時会 7月29日】

議案	審議内容	審査結果
報告第5号	令和3年度一般社団法人南阿蘇村農業みらい公社経営状況の報告について	原案可決
議案第59号	令和4年度南阿蘇村一般会計補正予算（第3号）の議決について	原案可決

(農業資材緊急対策事業～農業者支援～)

総額132億245万円

農業資材等緊急対策事業

1.目的

新型コロナウイルス感染症の影響に加え、資材不足や原材料等の高騰により、営農継続が厳しくなっている農業者を支援し、営農継続への意欲向上を図り、農業経営の安定化へつなげます。

2.対象者

村内に住所を有し、販売を目的として農産物を生産されている農業者
 村税等について、滞納のない者
 今後も継続的に営農する意思がある者

3.事業内容

事業区分	補助率	対象経費
①農業用ハウス本体整備	1/2以内 (上限 200万円)	規模拡大に伴うハウス施設の増設、ハウスの更新
②農業用ハウス設備整備	1/2以内 (上限 20万円)	灌水、電照設備等整備
③農業用ハウス被覆資材等	1/3以内 (上限 100万円)	被覆資材の更新、ハウス補強部材、修繕等
④農業用肥料、農薬等	1/3以内 (上限 10万円)	肥料、農薬等資材購入

※①と③の重複は不可 ※燃料費及びトラクター等の機械購入は対象外 ※他補助事業との重複は不可

4.対象期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

5.申請期限

令和5年2月28日まで

※但し、令和5年3月31日までに納品及び施工が完了する事業とする。

※詳しくは農政課
有機農業推進係まで!!

南阿蘇村 農政課
有機農業推進係



山村 主幹

定例会15日目（9月15日）総務、文教厚生、経済建設の合同常任委員会を開催。第3回定例会に上程された議案について執行部に詳細な説明を求めた。

令和3年度一般会計決算の認定

堆肥センターの決算は

〈橋本委員〉

令和3年度堆肥センターの決算が入っていない。何年から入金されていないのか、入金してあるのか、経緯の説明を。

〈農政課長〉

堆肥センターは、平成11年度運営を開始しており機械施設など老朽化している。平成29年度より簡易な修繕等が発生した場合、資金が必要であることから繰越費運営として行っている。



有機肥料生産センター

そば振興補助金の効果・成果は

〈河内委員〉

そばの振興補助金で1613万円、この概要と効果・成果説明を。

〈農政課長〉

熊本地震後、被災による水稻作付が困難な農家への支援を行い、令和3年度も継続して実施している。

そば振興補助金として1袋22.5キロを5377袋、1袋3000円の補助金を作付農家に149名、115ヘクタール分算出している。

令和4年度一般会計補正予算（第4号）

下田城駅舎改修費は

〈今村竜喜委員〉

下田城駅舎の改修工事320万円の内容説明を。

〈産業観光課長〉

駅舎機能が停止し6年経過。令和5年夏の開通予定に合わせ外トイレの解体工事を予定している。今後は、駅舎内のトイレを使用してほしい。

四季の森温泉改修費は

〈笠野委員〉

議員施設視察の時は、2000万円以上の工事費がかかると聞いたが、四季の森温泉防火設備工事551万円の内容説明を。

〈産業観光課長〉

今回、営業に支障がある消防設備・浄化槽の修繕をする。売却を進める方向で契約内容の変更を協議している。売却価格から改修された分を減額していく形で進めている。



改修される火災受信機

妙見橋通行止めは

〈今村竜喜委員〉

妙見橋の通行止め1か月の延長は、周知徹底を再度おねがいがしたい。

〈建設課長〉

6区の区長、地域の方々には説明をしているが、ホームページ・LINE・防災無線で周知徹底を行う。



改修中の妙見橋

その他

B&G支援事業の防災拠点は

〈橋本委員〉

B&G支援事業の、防災拠点は役場近くの空き地・村有地を考えると、

〈教育委員会〉

これまで倉庫の提案場所を3案ほど提示している。事業はソフト事業を3年間実施、小型車両系の免許取得、防災研修、有事の際に活用できるスキルアップ研修などがあり、今後検討する方向で考えている。



防災拠点事業に導入される重機等

60年超え妙見橋は

〈今村竜喜委員〉

妙見橋は60年を超える橋であり、今後新しいルートを経325号線に接続する構想を打ち出して「要望書」を提出する考えは。

〈建設課長〉

平成29年度より防災計画では、物流防災避難道路として活用している。今後は、物流避難道、矢部阿蘇公園線の連結道に取り込む形で検討する。

地元産そばブランド化

〈坂田委員〉

村内のそば屋さんは地元産を使っているのか。

〈農政課長〉

今年度、ブランド化を進めている中で聞き取りを実施しており、今後は村内の飲食店にも使っていただけるように取り組んでいく。

農業みらい公社について

〈橋本委員〉

農業みらい公社の人件費増の説明を。

〈農政課長〉

公社10年間の計画には、雇用があっても赤字にならない。販売力を強め取り組みを行っていく。

〈農政課〉

公社の事業をする上で役場の仕事との兼務は困難になり、技術指導の職員を臨時に採用した。

村道再編認定の予定は

〈坂田委員〉

村道再編認定作業の動向は。

〈建設課長〉

村道・農道・林道は、現在調査している。

今後は11月の区長会、12月議会定例会に提案していく。



村単独補助事業の見直し

〈岡委員〉

牛の共進会出品手当減額の説明を。

〈農政課長〉

村単独補助事業は財政状況を踏まえて随時見直しを行っている。今後も単独事業は、実績をふまえて調整していく。

〈辰巳委員〉

・スズメバチ駆除対策は。

〈笠野委員〉

- ・村内に分筆されていない箇所があるが今後どうするのか。
- ・TSMCに関する活動は。

審査報告

令和3年度の全会計を慎重審議、全員賛成で認定！！

将来的に健全財政を維持するため経常経費の見直しと削減に取り組みを。

例年9月議会は、前年度の決算審査が行われる為、「決算議会」とも呼ばれる。令和3年度一般会計（歳入）は総額で、144億9572万円となり、昨年度より大きく減少した決算となった。歳出は総額で137億4822万円。昨年からの新型コロナウイルス感染拡大による本村経済の落込みは相当なものであり、更なる試練に見舞われている。住民の方々が、安心して生活再建への道筋が立てられるような施策をしていくべきである。

会計区分	歳入決算額 (前年比)	歳出決算額 (前年比)
一般会計	144億9572万円 (−26億2056万円)	137億4822万円 (−28億1699万円)
国民健康保険	19億2955万円 (+1億291万円)	18億7831万円 (+1億4247万円)
簡易水道	3億7615万円 (+314万円)	3億6305万円 (+1297万円)
農業集落排水	5600万円 (−1391万円)	5494万円 (−1429万円)
生活排水処理	7413万円 (+147万円)	7306万円 (+142万円)
介護保険	17億4161万円 (+5775万円)	16億3313万円 (+2447万円)
住宅新築資金等	57万円 (−20万円)	57万円 (+1万円)
後期高齢者医療	2億0395万円 (+2978万円)	1億9115万円 (+2843万円)
上下水道	4087万円 (−858万円)	4757万円 (+524万円)

[監査委員意見書抜粋]

代表監査委員 吉里 啓文
議選監査委員 橋本 功

○行政事務は、全体的に村民の理解と行政担当の日頃の努力によって、厳しい財政状況の中でも震災関連も含め計画された事業が適切に、また財政収支の均衡保持に留意し経費節減に努め、福祉・農業振興・土木・教育・消防などへの施策が着実に執行されていることは高く評価に値する。

○財政状況は、経常収支比率が96.6%と大きく上昇している。合併特例期間の終了により地方交付税の減少や災害復旧事業に伴う負担の増加など厳しい財政状況になる。よって、人件費、団体等補助金、扶助費等の経常経費の見直しと削減に取り組む必要がある。

○今後、財政が厳しくなると予想されるが、国、県の施策等も勘案し、議会、執行部がそれぞれの立場で活力ある村づくりを目指しての議論を深め、安心して心豊かに住める村づくりに繋がることを期待する。



代表監査委員 吉里啓文氏

ここが聞きたい ずばり村政を問う!

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。

一般質問

ここが聞きたい ずばり村政を問う!



サテライトオフィス等に整備された
中松集学校 (旧中松小学校)



マイナンバーカード
普及促進事業

臨時交付金の活用は (新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金)

辰巳議員

新型コロナウイルスが発症し、未だ収束を見通す事が出来ない状況である。長引くコロナ禍で健康面でも経済面でも苦しい状況に追い込まれている。新型コロナウイルス感染臨時交付金として本村も国から数億円交付されたが、村民のコロナによる生活困窮や福祉の向上に直接寄与する施策の現状と効果は。自由度が高く活用できることから事業の必要性・妥当性の説明責任が必要だ。

適時適切な政策の時機を逸することなく臨機応変に対応する事が重要。たとえば、感染対策と共にまだ暑さの続くなか熱中症対策として、クーラーの設置・購入にかかる代金の一部補助。また、マスクや消毒等にかかる代金の一部負担はいかがか。村民目線にたち正確かつ、わかりやすい情報発信を迅速に行うことが必要だ。今後の、活用法や政策も併せて考えを問う。

村民の意見・要望を踏まえ 総合的に判断していく

村長

臨時交付金には、2本の大きな柱がある。新型コロナで影響を受けた飲食店等の家賃支援等を含む事業継続や雇用維持等に関わる事業、「新しい生活様式」を踏まえた地域経済の活性化等に関する事業がある。これを踏まえ、多くの村民に支援が行き届くよう、また

辰巳 和美議員

※写真撮影の為マスクを外しています。



アフターコロナも見据え「村民の幸福度を向上させることに繋がるか」を基本に事業を行った。小中学校の遠隔・オンライン授業等に対応する環境整備。南阿蘇鉄道の経営支援、空き家改修やサテライトオフィスの整備などに取り組んだ。

国が行う施策・事業を考慮し、行うべき事業、取り組みを実施した。

令和2年度は、小中学校の給食費に、もともと半額補助してあり、残りの半額に充て実質無償化。全村民にコロナ対策商品券事業、高齢者に敬老頑張る商品券配布事業、インフルエンザの予防接種補助、臨時特別出産祝金の支給。

令和3年度は、移動支援事業、融資金利子補給事業、そば農家出荷支援事業。

交付金の効果は、一つの指標として、生活保護者の推移が減少傾向である。交付金の効果とは言い切れないが、国の施策と含め一定の影響があったと考える。

令和4年度は、物価高騰による学校給食補助、農業用資材等緊急対策事業などを予算化。マイナンバーカードの普及促進と、村民の生活支援、地域経済の下支えを目的とした商品券配布事業を補正予算に計上。今後、生活困窮者や弱い立場の方に配慮し、スピード感ある取り組み、将来的に村民の幸福度の向上に繋がるようご意見、ご要望を踏まえ総合的に判断していく。

辰巳議員

今後、ご意見ご要望を待つのではなく、トップの判断でスピード感のある対策を行っていただき、村民の幸福度が上がることを切に願う。



河内 克也議員

※写真撮影の為マスクを外しています。



村民を交通事故から守るための対策は

河内議員

私は、村の宝、子どもを交通事故から守り村民を悲惨な事故の被害者にさせないことを願ってきた。村はアクセスが良くなった反面、交通量も増え、スピードの出しすぎ等マナーの悪い運転者も目立つ。管内で多くの人身事故が起きている。

- ①国の交通安全対策特別交付金は反則金収入を原資として村に交付される。交付金を活用したカーブミラー等、安全施設に関する考えと整備計画・台帳整備は。
- ②法を守り長く安全運転で充実した毎日を送っていただきたいのが願いが、先日もアクセルとブレーキを踏み間違いの死亡事故が発生。高齢運転車の事故防止対策は。
- ③滋賀県大津市で保育園児の列に車が突っ込み16人が死傷するという痛ましい事故が発生した。国からキッズゾーン設定の推進の通知が出され、従来のスクールゾーンに準じて保育所の周りにゾーンを設け見守り活動やカラー塗装等による注意喚起を行う内容。園児が園外活動をする微笑ましい姿を見る。園児を守るためキッズゾーンの方針は。

関係機関と連携し交通環境整備を図る

総務課長

- ①国の交通安全対策特別交付金は130万円。本年度、交通安全対策費674万円中、区長等の要望を基に必要・公共性を考慮し200万円を安全施設設置工事に充てる。現在、年次整備計画、施設台帳は策定、作成していないので、今後、調査等実施し策定、道路環境整備を図り交通事故ゼロを目指す。
- ②高齢運転者事故率は上昇しており高齢者の関係する重大事故が増加することが懸念される。村は
 - 1) 交通安全教育や啓発運動の実施
 - 2) 安全運転サポート車普及啓発とサポカー限定免許制度広報
 - 3) 安全運転相談窓口の設置推進
 - 4) 免許証自主返納者に対する支援
 を図る。県のペダル踏み間違い装置補助制度の周知も行う。



子育て支援課長

- ③対策として注意喚起や職員の指導、園児の交通安全教育訓練をクラスごとに実施している。園外活動で事故から子どもを守る対策として、キッズゾーン設置は必要と考えるので、設置に向け警察、道路管理者と協議を行う。

社会教育の拠点「中央公民館」の運営は

河内議員

社会教育は、一人ひとりの持つ資質や能力を高め、その力を地域活動に生かす「人づくり」、村民の活動が地域課題解決や活性化につながる「地域づくり」、それらの活動を通して村民の間に絆が生まれる「絆づくり」という大切な意義がある。社会教育の拠点は村中央公民館である。

中央公民館事業は村民にとって、集う、学ぶ、結ぶ場となるもので、社会教育の場を提供する場所、村民の生きがいがづくりの場として公民館の果たしてきた役割は重要だ。中央公民館には時代に合わせた変化が求められている。

今、全国の自治体では、中央公民館を複合施設の中に設置し、生涯学習センターに衣替えするところもある。

中央公民館は条例で長陽中央公民館という名称で、河陽3575番地に定められているが、老朽化もしている。村民のニーズに応えるため、見直すところは見直していく必要がある。案で、旧長陽庁舎、白水保健センター周辺、LOOPみなみあそ周辺の移転はいかがかと提案する。移転を含め、今後、中央公民館を拠点とした公民館活動をどのように位置づけ、社会教育、生涯学習振興のために公民館をどう運営していくべきだと考えているのか。

村民ニーズに応じた公民館運営に努める

教委事務局長

第2次村教育大綱の重点目標の「社会教育の推進」を図るうえにおいて、環境、施設整備づくりに努める必要がある。教委業務の大きな柱として、学校教育と社会教育があり、大事な教育として認識している。

現在の長陽中央公民館はクラブ南阿蘇が入室し、管理も担っている。研修室では各種団体の会議及び詩吟、体操、健康ヨガ、ダンス教室等毎日利用され、社会教育の拠点となっている。

公民館は築49年経過し老朽化に加え、地震でも被災しており、機能を移管できる施設として提案いただいた3施設を含め行財政計画の中で協議を進める。

社会教育法20条の公民館活動の目的にある村民の教養向上、健康・社会福祉増進、文化振興に寄与する社会教育の拠点として、多様化する住民ニーズに応じた公共施設が具現化できるよう公民館運営に努める。

笠野 真喜議員



※写真撮影の為マスクを外しています。

「図書室」について

笠野議員

令和3年度は、来館者数13508人、貸出冊数25274冊、貸出人数7053人、平均来館者数は47名。電子図書利用は、登録者数1229人、貸出者数652冊、貸出人数208人、閲覧数は1125件になっている。

図書室では、イベントもあり、村民の方に利用されている。寄付金も個人団体から約1100万円あり、図書の購入、南阿蘇村図書室振興基金に充てられている状況。

- ①若い世代が利用する図書室にする対応策は。
- ②専門書の不足があるが対応は、また年間の図書購入増額を考えているか。
- ③図書室周辺の整備計画（子ども広場）は。

ニーズを取り入れ利用促進に繋げる

教育長

- ①毎月定期的に、第2・第4木曜日は「乳幼児のためのお話し会」、第3土曜日は「みんなで楽しいお話し会」を行っている。

夏休みもイベントをして集客を図った。学習室もありネット環境整備もされ、タブレット等の活用も可能になった。また「NPO法人南阿蘇えほんのくに」との連携によりニーズに合った児童図書も揃えており、中高生世代を対象とした図書コーナーも活用して頂いている。

今後も定期的なイベント開催、若い世代のニーズ等を取り入れて図書室の利用促進につなげたいと考えている。

- ②専門書は、分野が多種多様で幅が広く、高額な物が多いうえ、貸出頻度が低く、現在は県立図書館からの貸借により対応を行っている。

図書購入は、当初予算で110万円、年間500冊の購入を計画して長期的な蔵書計画を図っている。図書購入費の増額は、専門書も含め、利用

者のニーズ等を把握しながら対応をしていく。

- ③現在、LOOPみなみあそ駐車場の西側に芝生スペースがあり、子育て支援センターにて小さな滑り台とベンチを設置している。親子のふれあいの場として、まずはこの芝生スペースを有効活用していきたい。活用できる補助金や寄付金を確保して整備していきたいと考えている。



既存の専門書

文化的な施設として整備していく

村長

図書室は、文化と交流の場として位置づけている。子どもから高齢者まで集うような施設であり、村の図書室は、文化的な施設として、これからも整備していく。

笠野議員

これからも持続可能な村づくりをするためにも、図書室を将来は、図書館に目指すような施策を計画し、更に利用しやすい施設を望む。



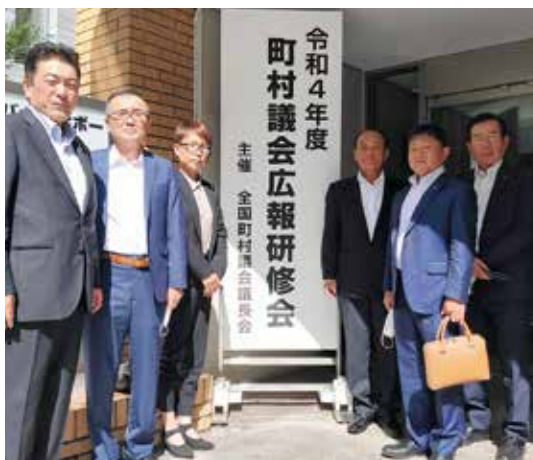
LOOPみなみあそ

議会活動

議会広報研修等 (9月21日～22日 於：東京砂防会館)

○議会広報特別委員会委員6名、事務局1名

9月21日、全国町村議会広報研修が開催され、全国から多くの議会広報委員が出席。当日は3名の講師から、議会広報の意義、誰のため何のための広報発行なのかを入口として、内容面では時流キャッチ、住民参加等企画重視と、紙面はわかりやすい見出しと文章づくり等、多岐にアドバイスを受けた。コロナ禍の影響で改選後初めての本格的研修受講となったが、学んだことを今後の広報づくりに取り入れていきたい。



全国議会広報研修会



研修風景

22日は有楽町の「ふるさと回帰支援センター」視察を行った。センターは移住定住希望者の東京の相談窓口、情報発信基地となっており、村の大きな課題である人口減少対策、移住定住政策の参考となる現状の説明を受け、相談員等と移住促進について意見交換を行った。



ふるさと回帰支援センター



近年の移住現状について説明を受ける議員

施設概要

ふるさと暮らしを希望する住民の増加に応えるため、2002年労働組合、消費者団体、農林業団体や有志が設立した。44都道府県の相談窓口があり、全国の田舎暮らし情報が集約されている。

議会『村議会に』紀行『聞こう』

村民の皆さまからよく聞かれる疑問に答えてみました。

村議会 & 村会議員のしごと

「決算の重要性」と「監査、検査、審査の違い」は

傍聴に行ったら、決算審査報告があったばってん、
執行済みのことに時間をかけにゃんかな？

いつも傍聴ありがとうございます。

決算審査は、議会が決定した予算が村民のために適正に執行されたか審査し、資料に基づきその行政・経済効果を測定する極めて重要な意味があります。後年度の行財政運営の改善に生かされるよう役立てる、決算審査の重要性から慎重に審査され認定されます。

なら、よう審査、監査、検査て聞くばってん、
違いはなんな？

簡単に申し上げますと、審査は一定の判断を下す。監査は指導の意味が含まれ、検査は計数の正否を調べる業務です。

例一決算審査、定期監査、例月現金出納検査

議会改革は

よう議会改革と聞か、うちん村はどやんな？

常任委員会（現在3つの常任委員会を2委員会に再編する案）の見直し等、開かれた議会を目指し、現在、総務常任委員会に付託し、検討が行われている段階です。



あなたのSDGsは？

vol.5

第2 駐在区 藤原 美里

地域婦人会とSDGs SDGs11 住み続けられるまちづくりを

地域婦人会は、地域を取り巻く困りごとをやさしくサポートする活動をしています。第2駐在区の活動として、家の隅に残っている使用済みの乾電池を、地区の皆さんに声をかけ、年に一回回収し、指定の場所へ持って行ってます。壮大な環境改善にはなりません、なんとなくかゆいところに手が届く感じの活動の提案に私はリスペクトできます。

次に南阿蘇婦人会で、学校の家庭科の授業で裁縫のサポートに入っています。現実的に30人クラスで細かい作業の指導は、先生だけでは大変なので実際に子どもが通っている親の立場からしてもありがたい活動です。活動中は教える大変さはあるようですが、皆さん子どもたちを見て自分の子どもや孫のように声をかけ、いい表情をされています。

このほかにも地域のイベントや災害の際にも活躍する婦人会です。SDGsで自分で出来ることもよくわかりませんが、17の目標を見ると、どの項目でも最初の一步に婦人会だけでなく地域の昔ながらの活動があると思います。

婦人会の活動とSDGsを照らし合わせ、持続可能なむらづくりのヒントを探していきたいと思えます。



編集後記

令和4年10月13日、千葉県船橋市議会より熊本地震災害講話の依頼があり、中川消防団長、藤原防災官、笠消防主任と私の4名で行って来ました。船橋市議会議員50名全員の出席を頂き、熊本地震の実体験及び災害時の議会の対応などを講話しました。意見交換も行われ、多数の質問がありました。

私は講話を聞き、また説明も行ったのですが、行政として災害時如何に減災にもっていか、またさまざまな災害想定による防災力強化が改めて大事であると感じました。熊本地震から6年半が経過しました。村民の皆様も改めてではありませんが、今一度、非常時の備えを確認頂きますようお願い致します。

今年も残すところ2カ月間となりました。秋から冬へ寒さも厳しくなります。皆様どうぞ自愛ください。

議会広報特別委員会

委員長 今村 輝宏
副委員長 市原 恵一
委員 河内 克也
〃 坂田 正也
〃 岡 智則
〃 辰巳 和美

発行責任者

議長 桐原 純男

表紙の写真について 「青い空」・「黄金色の稲」ウクライナ国旗をイメージした表紙を採用いたしました。世界の平和と子ども達の幸せを、ひたすらお祈り致します。(場所：両併地区)



ウクライナ国旗